2016年3月期決算説明会

2016年5月30日

あすか製薬株式会社

2016年3月期　連結決算概要

あすか製薬株式会社
専務取締役　丸尾　篤嗣

損益計算書（連結）

単位：百万円	2015年3月期	2016年3月期	増減額	増減率
売上高	42,907	43,215	308	0.7%
売上原価	25,713	26,070	357	1.4%
売上総利益	17,193	17,144	△48	△0.3%
販売費及び一般管理費	15,767	15,978	210	1.3%
営業利益	1,425	1,166	△258	△18.1%
経常利益	1,722	1,522	△200	△11.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,193	701	△492	△41.2%

2016年3月期の状況

セルタッチの販売終了およびセオリアファーマとの物流業務終了を受け、売上計上が無くなったものの、カンデサルタンAGやリュープロレリンGEなどが伸長した他、承継した抗甲状腺薬等が売上増加に寄与した。

事業別売上高（連結）

単位：百万円

	2015年3月期	2016年3月期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	**38,924**	**38,955**	90.1%	30	0.1%
動物用医薬品	**3,710**	**3,927**	9.1%	217	5.9%
その他	**272**	**332**	0.8%	60	22.3%
合計	**42,907**	**43,215**	100.0%	308	0.7%

主要製品売上高

単位：百万円

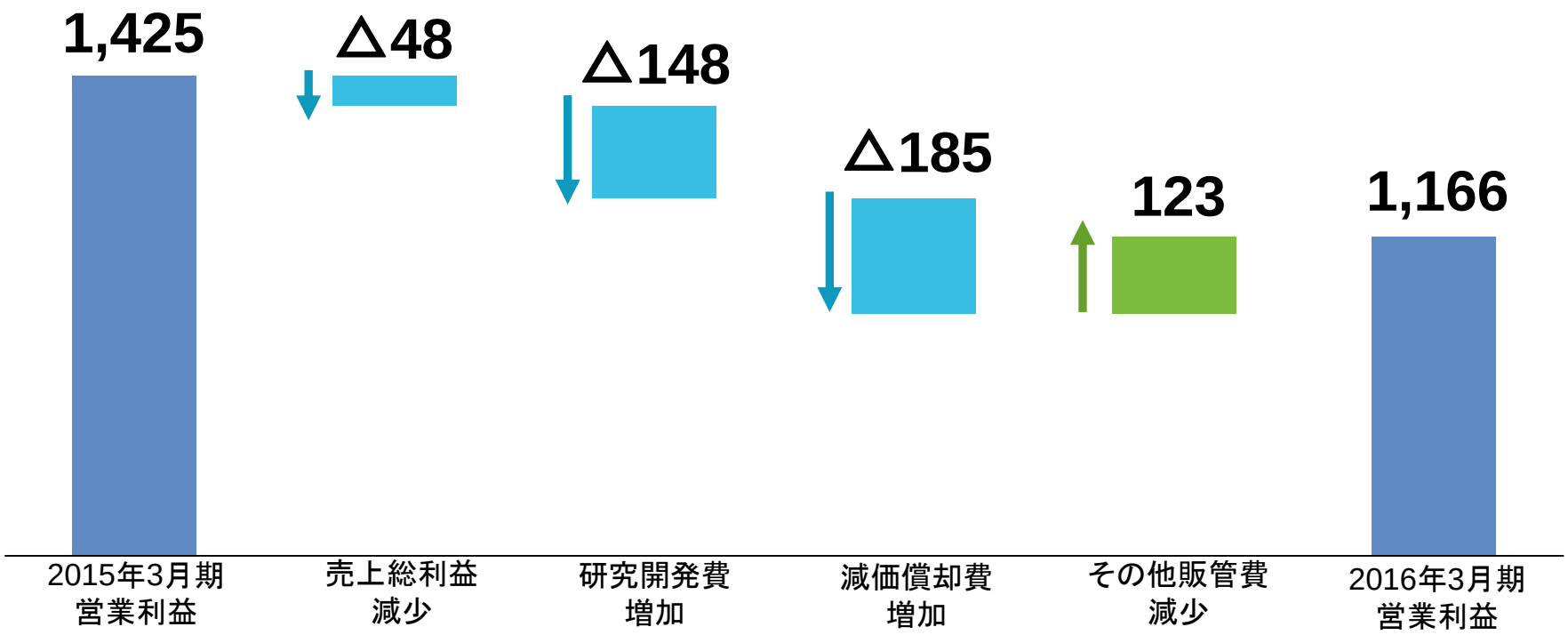
領域	製品		2015年3月期	2016年3月期		2017年3月期	
			実績	実績	前同比(%)	計画	前同比(%)
内科	※1、※2	カンデサルタン類	5,869	9,114	155.3	9,791	107.4
		チラーヂン	4,876	4,780	98.0	5,190	108.6
		リピディル	4,484	4,456	99.4	4,398	98.7
	※1	アムロジピン	1,853	1,796	96.9	1,791	99.7
	※1	ラベプラゾール	953	1,035	108.6	1,012	97.8
		アルタット	928	734	79.1	595	81.1
産婦人科		アンジュ	940	963	102.4	1,091	113.3
		ノルレボ	848	907	107.0	1,094	120.6
		ルテオニン	680	760	111.8	676	88.9
		メノエイド	561	595	106.2	633	106.3
泌尿器科	※1	ビカルタミド	1,925	1,798	93.4	2,057	114.4
	※1	リュープロレリン	1,789	2,720	152.1	3,225	118.6
		プロスタール	1,296	1,494	115.2	852	57.1
	※1	リストリーム	723	698	96.5	802	114.9

※1：ジェネリック医薬品

※2：配合剤を含む

営業利益増減分析（対前同）

単位：百万円



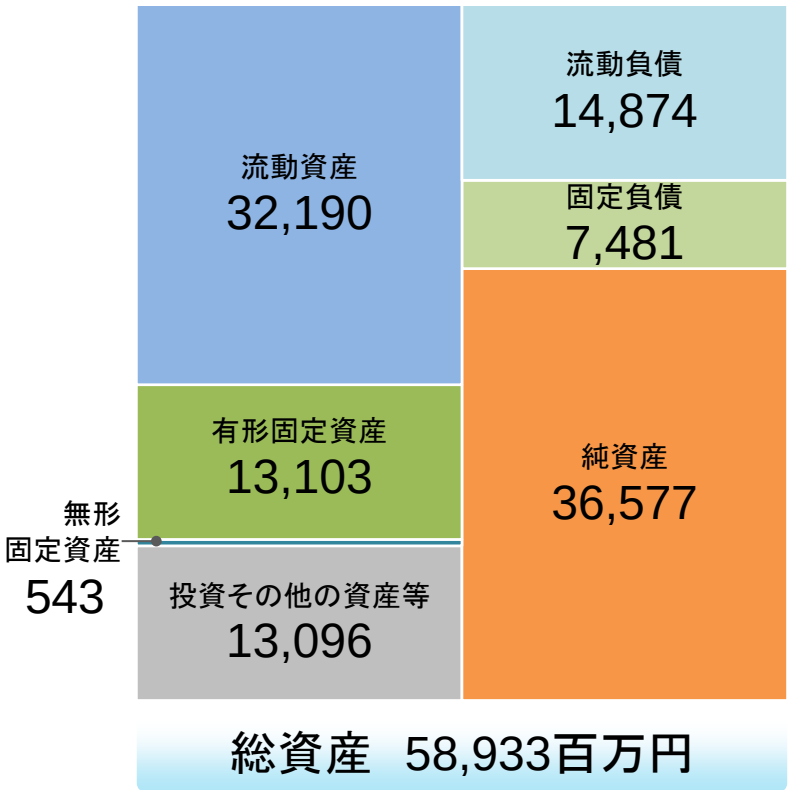
要因分析

- 売上高は増加したが、原価率の上昇により売上総利益はほぼ横ばい
- 研究開発費、減価償却費の増加等で営業利益は減少

貸借対照表（連結）

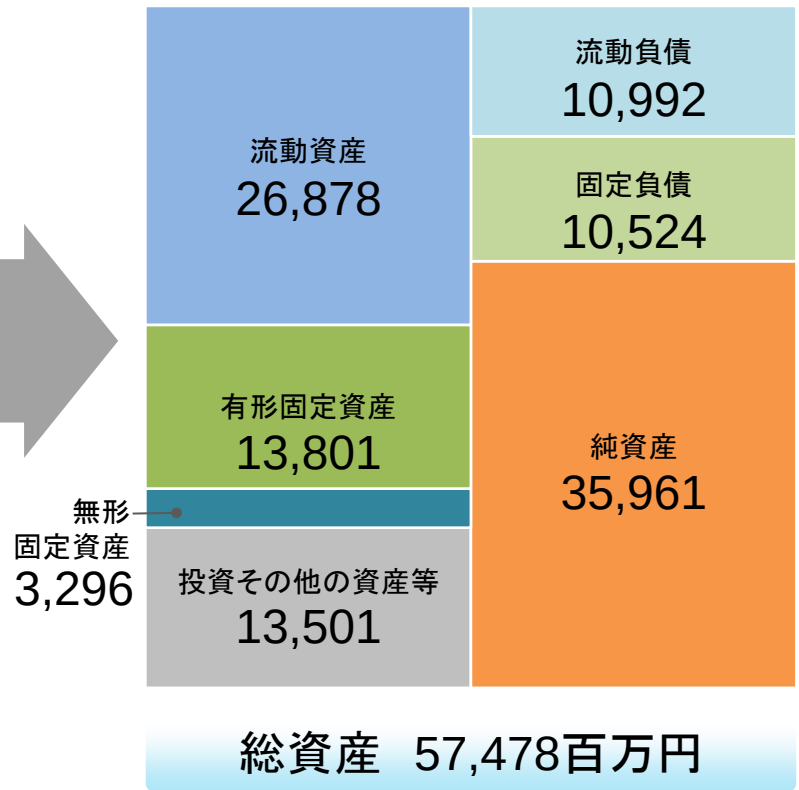
2015年3月期末

単位：百万円



2016年3月期末

単位：百万円



	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産等	流動負債	固定負債	純資産
増減額	△1,454	△5,311	698	2,753	406	△3,881	3,042	△615

2016年度の取り組み

単位：百万円	2017年3月期 見込み	増減額	増減率
売上高	45,000	1,785	4.1%
営業利益	1,000	△166	△14.3%
経常利益	1,200	△322	△21.2%
当期純利益	1,000	299	42.6%

2016年度の重点目標

- カンデサルタンAG類の最大化にむけた取り組み継続
- リファキシミンの製造販売承認取得・販売開始
- 自社創製品の非臨床試験を推進する

株主還元について

配当方針

- 2016年3月期は、期末配当金を7円とし、中間配当金7円と合わせ年間14円といたします。
- 2017年3月期は、安定配当として年間配当金14円を予定しております。
- 今後の配当につきましては、安定的な配当の継続を基本とし、業績、今後の事業展開および財務状況等を総合的に勘案して実施し、成果の配分を高めるよう努めてまいります。

新中期経営計画
ASKA PLAN 2020

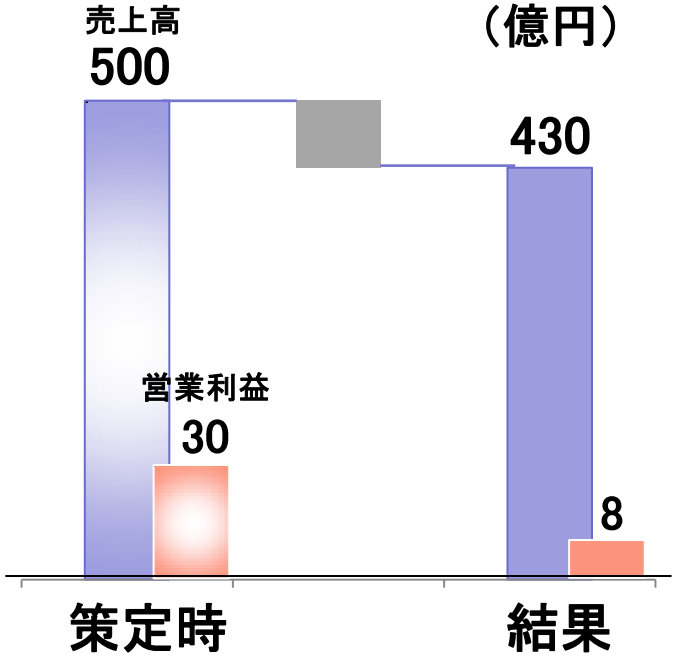
あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

本日のスライド内容

- ASKA PLAN 2015総括
- ASKA PLAN 2020の概要
- 重点取り組み課題
- その他ご参考資料

ASKA PLAN 2015 総括

数値目標（連結）



主な取り組み・成果

選択と集中

① 新薬の申請実施・承認取得
② 承継による重点領域の強化
③ ジェネリック事業
④ 重点領域の再構築

生産性向上 コスト最適化

① いわき工場第四製剤棟の竣工
② 委託品の内製化の推進
③ 研究所の統合

要因

セルタッチ 販売終了
セオリアファーマ物流業務 提携終了
その他長期収載品の売上減少等

残された課題

① 開発パイプライン
② コスト低減

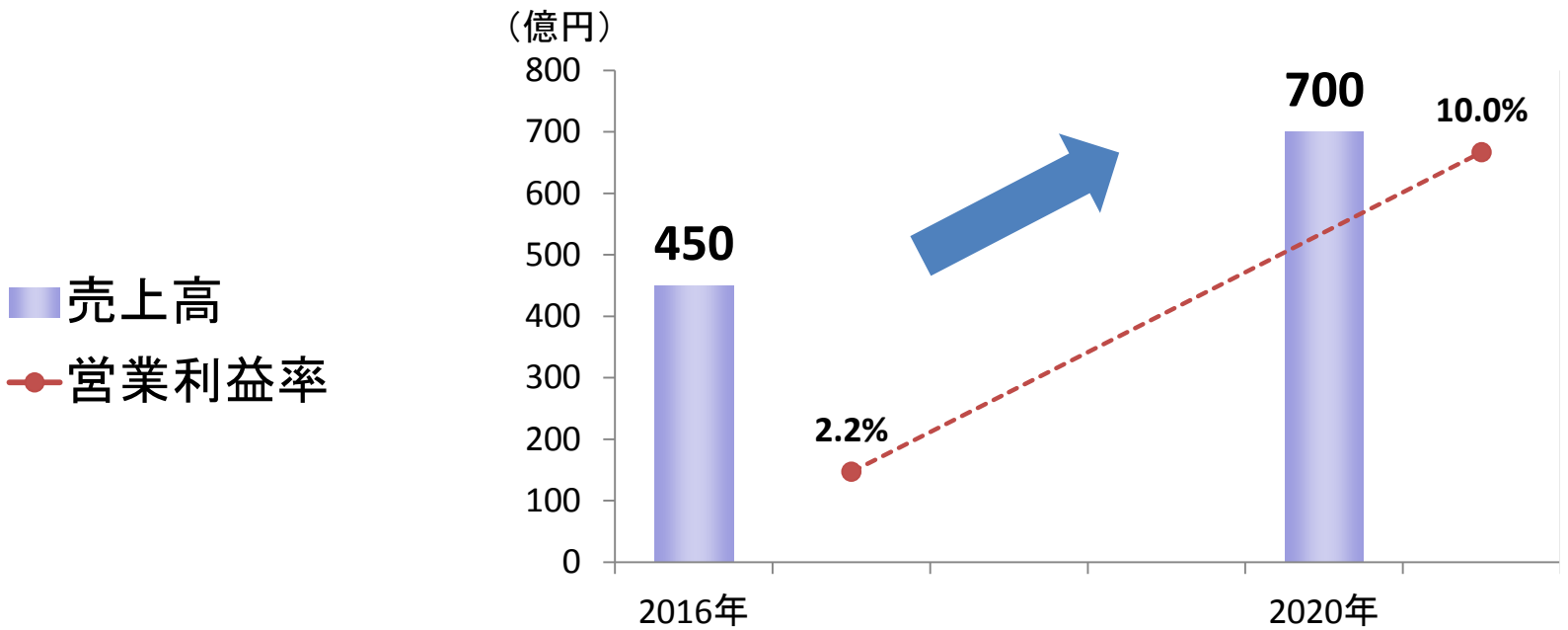
ASKA PLAN 2020の目指す姿



ASKA PLAN 2020　定量目標

連　結

	2016年度 計画	2020年度 想定目標
売　上　高	450億円	700億円
営業利益率	2.2%	10.0%
ROE	2.5%	8.0%



ASKA PLAN2020実現に向けた4つの挑戦

- 創薬機能の再構築を中心とした新薬事業強化
- 育薬による製品価値向上と利益の最大化
- コスト構造の見直し・生産性向上
- 新人事制度のもと、社員の成長・能力向上

成長のための4本柱

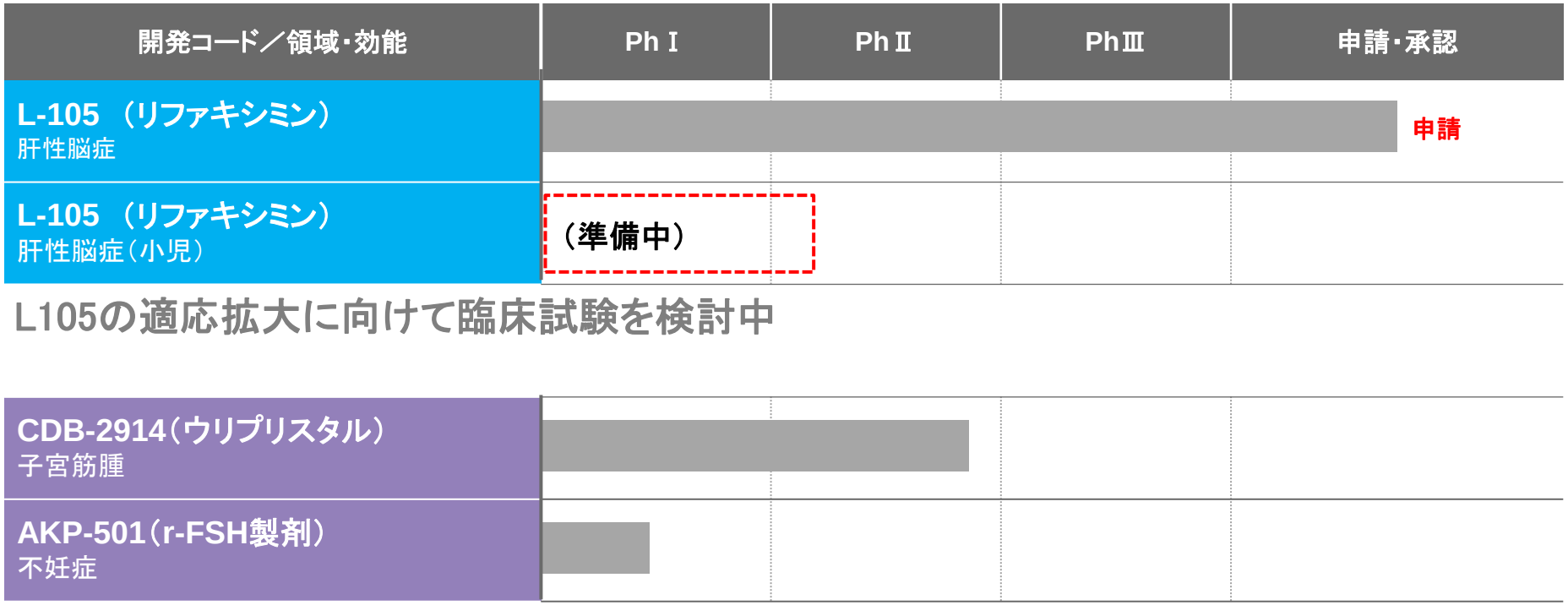
ASKA PLAN2020

新薬	AG	GE	基礎的医薬品
リファキシミン ルテウム等	カンデサルタン カムシア	リュープロレリン アムロジピン等	チラーヂン メルカゾール

新薬事業強化への取り組み

開発パイプライン

研究開発の状況（2016年5月時点）



L105の適応拡大に向けて臨床試験を検討中

リファキシミンの国内外の現状

世界

- 60カ国以上で承認取得
- 英国国立医療技術評価機構（NICE ）ガイダンス
  - 肝性脳症再発予防に推奨

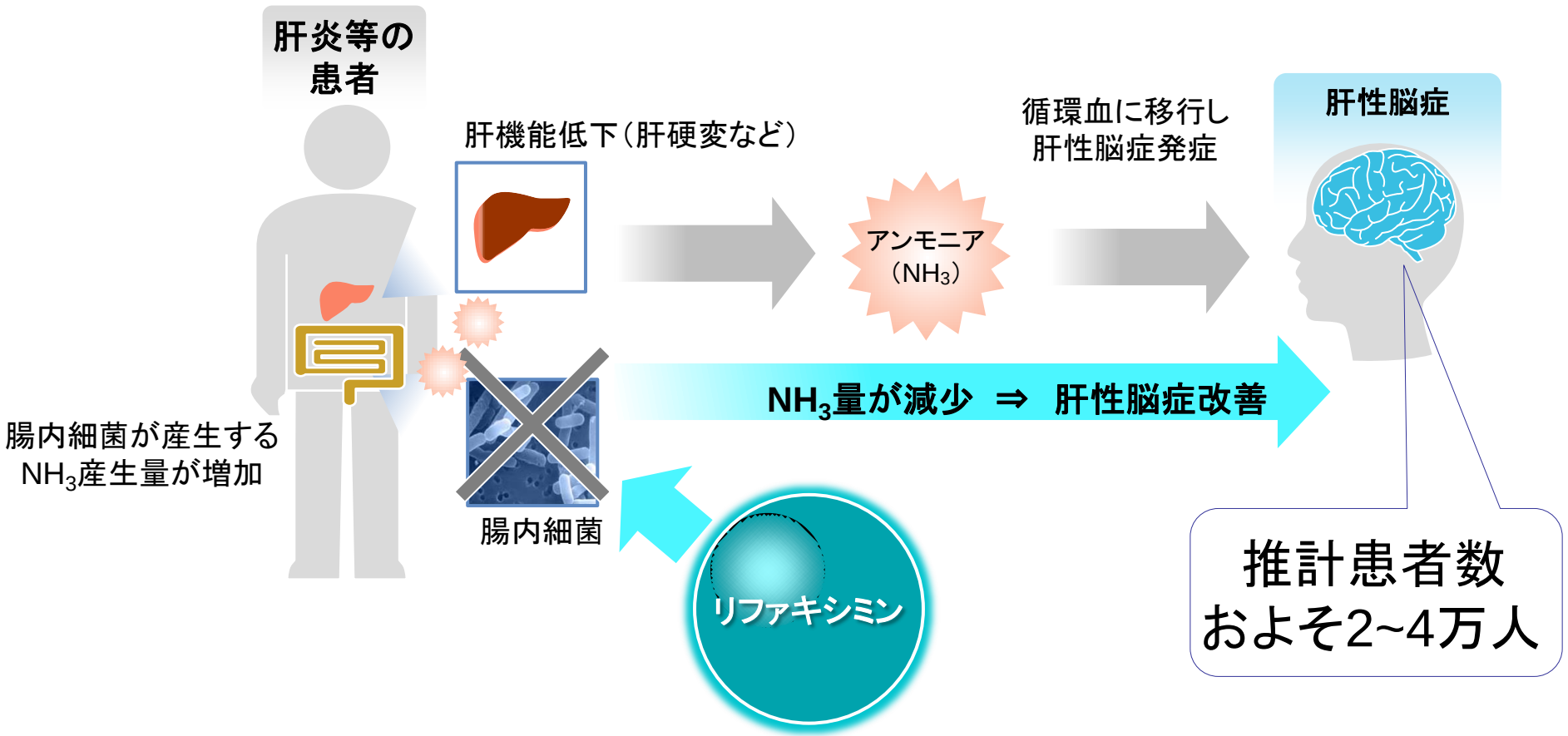
国内

- 希少疾病用医薬品指定（2013年5月）
- 製造販売承認申請（2015年12月）
- 肝硬変診療ガイドライン2015
  - エビデンスレベルA

肝性脳症におけるリファキシミンの役割

確かな効果と安全性の高い「肝性脳症治療剤」確立を図る

- 広い抗菌スペクトルを有し、消化管内で抗菌作用を発揮
- 腸内細菌叢に作用し 、肝性脳症の症状緩和



ASKA PLAN 2020 最終年までの目標

リファキシミン 適応拡大

- 肝性脳症（小児）
- 炎症性腸疾患（IBD）・過敏性腸症候群（IBS）

CDB-2914（ウリプリスタル）
選択的プロゲステロン受容体調整剤

- 子宮筋腫　2020年申請及び承認取得を目指す

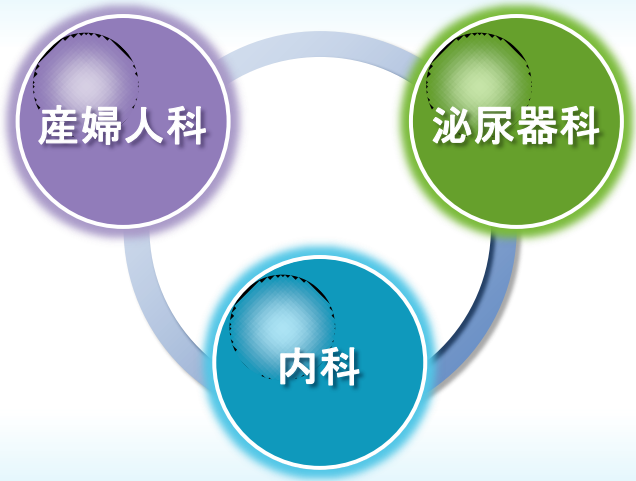
自社創製品の臨床入り

- 2テーマの臨床試験を開始

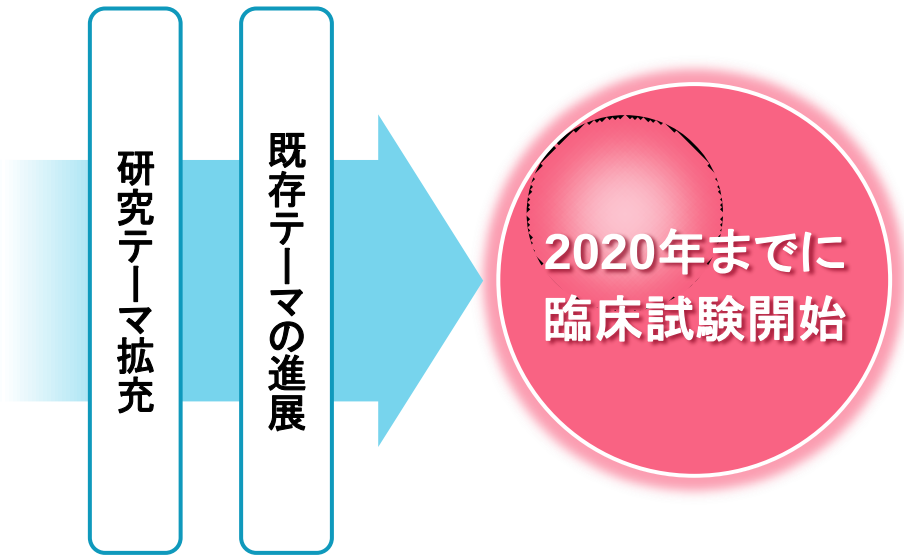
創薬機能の再構築を中心とした新薬事業強化

領域戦略の課題・対策

- 創薬機能の分離・集約（創薬研究本部 4月設立）
- 自社基盤技術の活用
  - 化合物ライブラリー等



- 外部リソースの活用・投入
  - オープンイノベーションへの取り組み
    （産学協働スクリーニングコンソーシアム）
  - アカデミア・他社との共同研究



ASKA PLAN 2020

医療現場のニーズにこたえる薬剤を投入していく

～ASKA PLAN 2015

2016 ASKA PLAN 2020 2020

2021-

MSLチーム設立



新中計の新薬 第１弾

ルテウム膣用坐剤

ノルレボ1.5mg



CDB-2914

リファキシミン

自社創製品

あすかブランドの定着

育薬による製品価値向上

甲状腺領域の育薬

医療ニーズの掘り起し

市民公開講座

世界
甲状腺デー

疾患
啓発

病識
向上

甲状腺検査
推進運動

潜在患者

※現服用者の3倍程度と推計

100億円規模まで目指す



産婦人科領域の育薬活動

産婦人科領域のリーディングカンパニーを目指す

周産期

切迫流・早産

- ルテオニン

生殖内分泌

不妊-排卵誘発剤

- ゴナピュール
- HMG注

産婦人科領域

婦人科腫瘍

- リュープロレリン

子宮筋腫

女性ヘルスケア

- アンジュ　・メノエイド
- ノルレボ

避妊・更年期障害

医療ニーズ対応

ノルレボ錠1.5mg製剤
ルテウム膣用坐剤

ユーザー向け啓発活動

疾患啓発Webサイト
病院検索システム



医療関係者向けセミナー

自社主催講演会

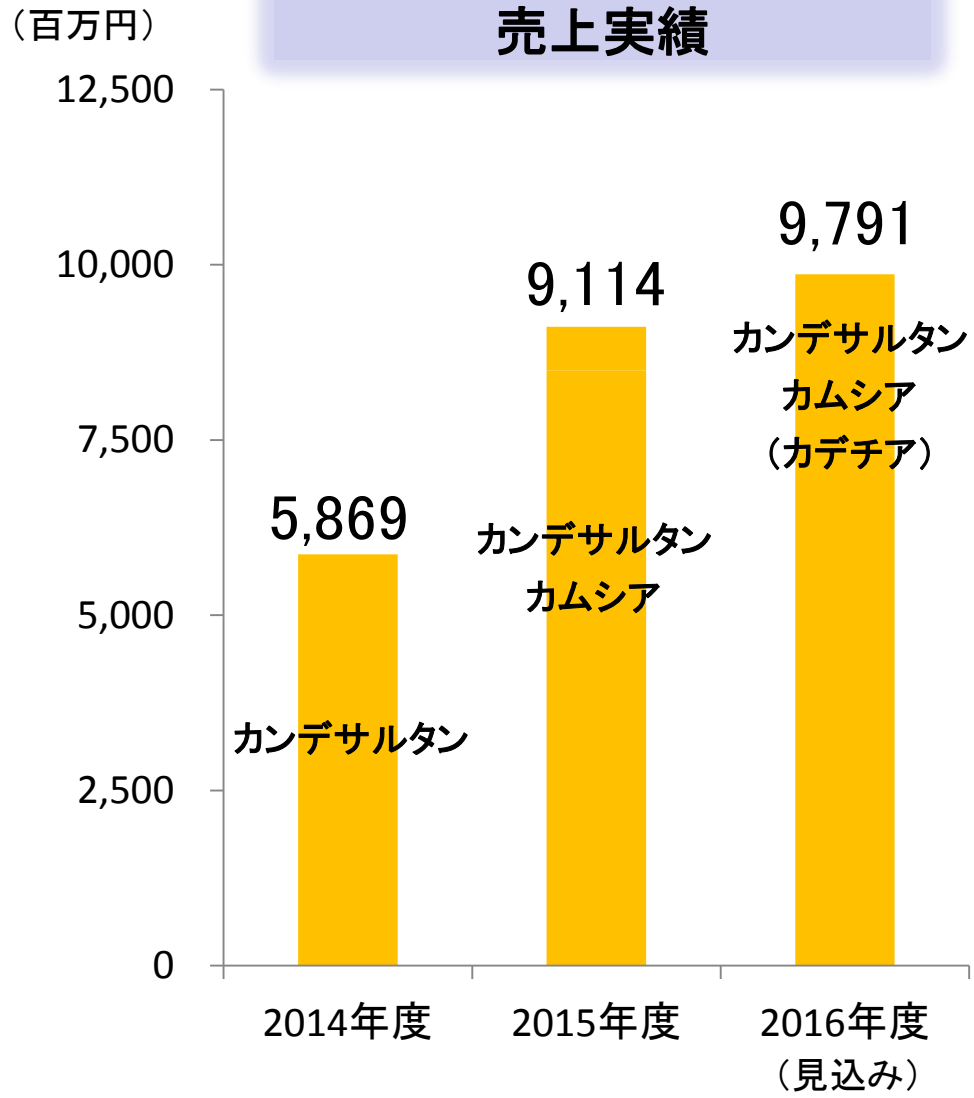
学会共催セミナー

疾患啓発活動

特色を生かしたAG・GEの推進

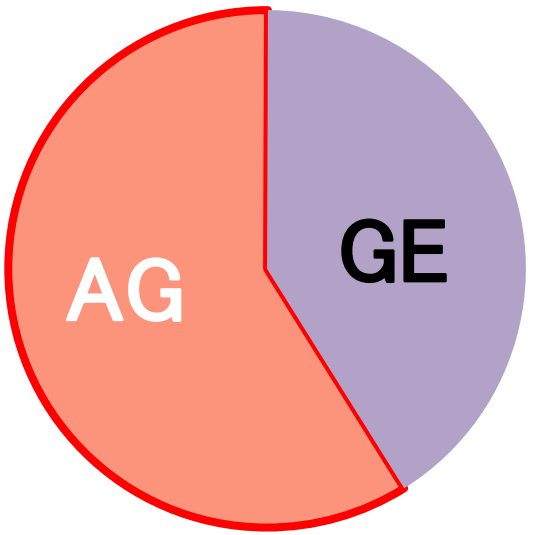
オーソライズド・ジェネリックへの取り組み

カンデサルタン類 売上実績



GE内シェア

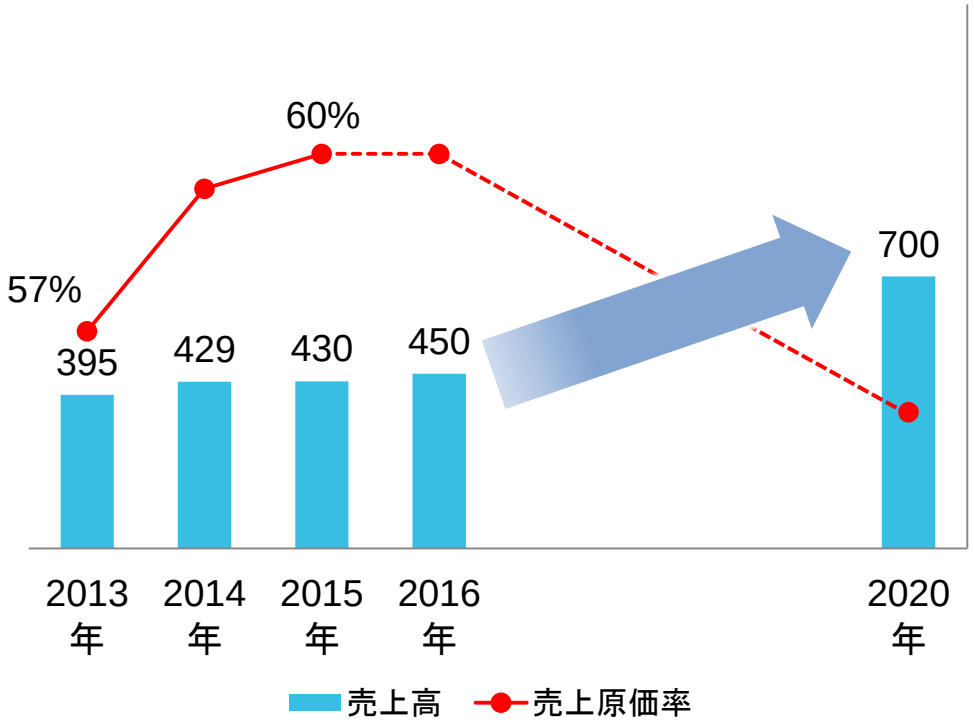
（数量ベース）



カムシアAG納入先の約2/3は
カンデサルタンAG先

コスト構造の見直し･生産性向上

コスト構造の見直し･生産性向上





- いわき工場第四製剤棟竣工
- 内製化促進
- 製品ポートフォリオ見直し
- ERP導入検討

中計期間ですすめる積極的な投資



あすか製薬グループ

あすか製薬メディカル



検査事業/ヘルスケア事業

あすかアニマルヘルス



動物用飼料・医薬品事業

あすか製薬グループ

あすか製薬



医療用医薬品事業

あすかActavis製薬

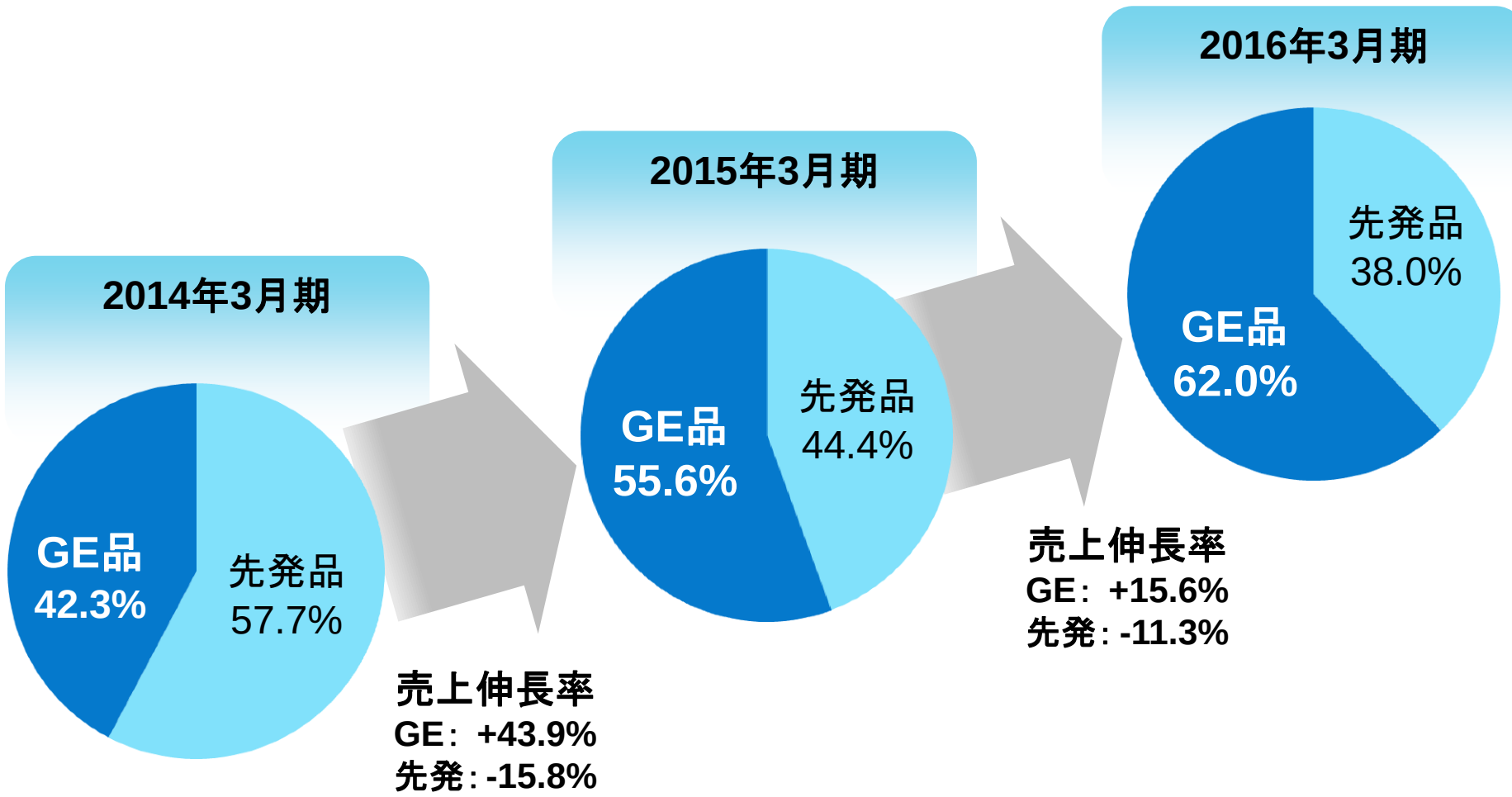
先端の創薬を通じて、

人々の健康と明日の医療に貢献する

あすか製薬株式会社

ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

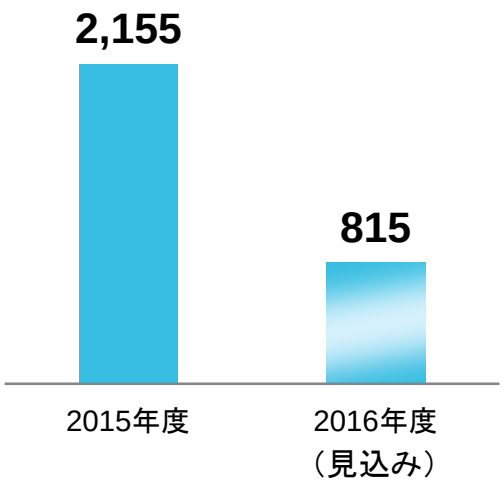
ご参考：医療用医薬品の売上構成比・伸長率



ご参考：設備投資・減価償却費・研究開発費

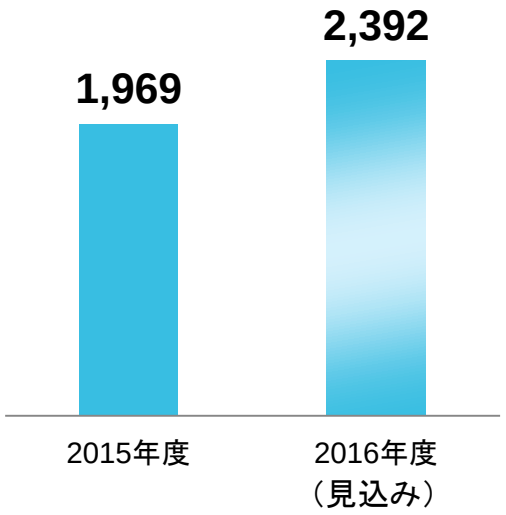
設備投資

（百万円）



減価償却費

（百万円）



研究開発費

（百万円）



- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

経営企画部

Tel　：03－5484－8366

e-mail：kouhou@aska-pharma.co.jp

